

令和4年度
第2回香美市まちづくり委員会会議録【概要版】

日時：令和4年9月14日（水）午後6時半～午後7時半
場所：香美市立役所本庁舎3階 301会議室・302会議室・応接室
出席者：まちづくり委員 15名
事務局（企画財政課）4名、健康介護支援課2名、環境課2名、総務課2名
欠席者：5名

※新型コロナウイルス感染対策のため、3室に分かれ、グループワークのみの会を行った。

健康・教育部会 「一般介護予防事業」（健康介護支援課）

※資料3-1とその他参考資料に基づいて健康介護支援課が説明を行った後、付箋に意見を書く等して、グループワークを行った。

（以下、「グループワークまとめ」に記入された内容と付箋に書かれた意見等より）

事業内容：香美市第8期高齢者福祉計画、介護保険事業計画に基づく事業で、4本柱①介護予防講座②運動習慣づくり③生きがいづくり④自主グループ支援を中心に実施している。

「地域の集いリーダー研修会」「コロナ禍での予防活動等の情報提供」「70歳の同窓会」について協議した。

事業目的の達成に向けたフィードバック

事業開始時の改善点や現状の課題解決について

○情報の公開・共有について

- ・情報の公開や提供をどのようにやっているか、行政と社会福祉協議会（以下、社協）との情報提供は十分か。

（市と社協（委託先）で月1回定例会をしている。市と社協の課題認識は一致しているという認識）

- ・情報にふれる機会を増やす。

（広報、民生委員、ライン、包括支援センターの窓口、訪問で事業案内のチラシを配布している。香北では通信を出している。他、見守り郵便として独居の方へ案内を送っている。）

県全体での発信や高知新聞などのメディアへ働きかけをしてはどうか。

（メディアには高知新聞の販売書でコラムの通信を出してもらっている。）

- ・福祉分野以外への情報公開、共有も必要。
- ・数値等での評価・分析も必要ではないか。

（今やっている事業の評価は、アンケート調査・介護認定結果等である。）

○役割分担について

- ・「リーダー」の役割を明確にする。ここまでは行政が、社協が、ここからはリーダーが

等、入り口を明確にする。 環境整備には取り組んでいるか。

(リーダー研修は、年1回おこなっている。)

- ・つながり、支えあうことの大切さを再確認できるような研修内容だと良い。
- ・環境整備として、自治会との連携、情報公開・共有、役割を担ってもらうことも大切ではないか。
- ・今後ますます高齢化が進むため、50～60代の人材開拓も必要ではないか。
- ・リーダーにとって、負担が増すものではなく、楽しいものにする。また、ポイントなどの動機付けを工夫する。

○その他

- ・コロナ禍なので、少人数や1対1の取り組みの検討をする。

今後に向けて

○目的達成に向けて

- ・関係者の努力(数値目標を持って)が必要。
- ・関係者、当事者含めて、適切な時期に見直しを。
- ・健康維持できる魅力ある活動を開催してほしい。
- ・小中学生が身近な高齢者に声掛けをして、一緒にできる内容を増やす。

○新たな可能性に向けて

- ・若い世代との関係づくりを試みる。
- ・高齢者だけでなく子ども達と一緒に活動する。
- ・高齢者教室を社会教育・生涯学習とコラボする。
- ・工科大学と連携するなどして、介護予防や健康に関するアプリの開発をする。(情報の公開・共有にもつながる。)

- ・「高齢者はこれ」という固定観念があるので、違う視点で工夫し、アイデアを出していく。
- ・介護予防にどう取り組んでいくのか、どう広げ、どう市民に説明できるのかということが社協・市の使命である。
- ・事業は「こうしたい」「こうしてほしい」それらのニーズから始まる。そのニーズを関係者・当事者で共有し、どう伝えていくか。そのために何が必要であるのかを協働推進計画に入れたい。

建設・環境部会 「地球温暖化対策事業」(環境課)

※資料 3-2 とその他参考資料に基づいて環境課が説明を行った後、付箋に意見を書く等して、グループワークを行った。

(以下、「グループワークまとめ」に記入された内容と付箋に書かれた意見等より)

(事業内容)：事業者及び市等の協働のもとに、香美市域の温室効果ガス排出の抑制等に関し必要な措置について協議し、具体的な対策を実践することにより、地域における地域温暖化対策の推進を図ることを目的とした事業。(生ごみ処理容器補助金、太陽光発電設置補助金、地球温暖化対策パネル展、雑紙リサイクル等)

事業目的の達成に向けたフィードバック

事業開始時の改善点や現状の課題解決について

○情報の公開・共有について

- ・情報の公開が不足している。

- ・事業を始めるにあたって、情報の公開・共有があったが不明
- ・協議会の設置にあたって、市民が意見する機会があったらどうか。
- ・行政の広報周知活動はどこで、どのようにしているか？足りているのか？
- ・市民の意見がより反映できるように、公募委員を入れるべき。
- ・議事録を過去の方を含めて香美市公式ホームページに掲載するべき。

→今後対応していく。

- ・具体的な数値目標が必要。明確な数値がないと PR できない。

○役割分担について

- ・行政は数値目標を出す。
- ・どのように実行するかの話し合いには、市民の参加がいる。

今後に向けて

○目的達成に向けて

- ・省エネに向けた具体的な目標を知らせる。
- ・よりデジタルに、情報の見える化をすすめる。
- ・市民参加の勉強会を開く。
- ・どれくらいのゴミが出ているか実感が湧かない人もいるので、焼却施設の見学等をする。
- ・ゴミ処理量（リサイクル現場）の動画があれば伝わりやすいのではないだろうか。
- ・学生が多いので、学校のメールなどで学生に知らせたり、YouTube に上がっていることを知らせたりする。
- ・地球規模での議論は行政で行ってもらい、市民には分かりやすく伝えて欲しい。
- ・二酸化炭素の排出をできるだけ削減できるように、普段から省エネな行動（エコバックを使用する、こまめに電気を消すなど）を選択（クールチョイス）できるように、市民に知らせる。

○その他

山林が多いのでカーボンクレジットとして使える可能性がある。

その他

生ゴミよりもプラスチックのゴミが多いのではないだろうか。

雑ゴミの分別が面倒くさい。

香美市は雨の日も紙ゴミの回収をしている。（ただし衣類は雨天回収できない。）

産業部会 「情報共有事業」（総務課）

※資料 3-3 等に基づいて総務課職員が説明を行った後、付箋に意見を書く等して、グループワークを行った。

（以下、「グループワークまとめ」に記入された内容と付箋に書かれた意見等より）

事業内容：まちづくり活動への市民の参画を促進するため、協働のまちづくりに関する情報（助成事業・市民活動の状況など）を、広報等を作成して積極的に発信する。

事業目的の達成に向けたフィードバック

事業開始時の改善点や現状の課題解決について

○情報の公開・共有について

- ・市民活動のプレスリリースを載せる。
- ・記事の募集を掲載する。

○役割分担について

- ・地区ごとの自治会を取材して広報へ載せる。

○その他

- ・広告の無料掲載を抽選でおこなう。(有益であるということ、大々的にアピールする。)
- ・広報の良い配布方法がないか。

(→配布方法は自治会ごとにおまかせしている。他市には、自治会加入の有無に関わらず、個別にポスティングをしているところもあるが、予算がかなりかかる。自治会からは、広報が手に入ることが自治会加入の良い点になっている部分があるので、このまま続けて欲しいという声もある。なお、自治会に加入していない方のために、スーパーや公共施設等に配置している。)

今後に向けて

○目的達成に向けて

- ・広告の募集があることを知らなかったので、定期的にやってほしい。
- ・企業 PR や市民サークルの PR が、広報を用いて出来るということをアピールすると良い。
- ・YouTube やツイッターの検討をしてみる。

○新たな可能性に向けて

- ・占いの掲載があると面白い。
- ・地区委員にゆだねる記事(地区しか知らない秘蔵の話)をつくる。
- ・工科大学生など若い方の広報アルバイトがいたら、若い目線の意見が出る。
(→工科大学生に読んでもらえるような内容を検討したい。)
- ・どんな市民活動をしているか知らないという声もあるので、取材や募集をしてみる。
(→掲示板に掲載できるか、広報委員会で検討してみる。)
- ・歴史探訪のようなコーナーを、観光地探訪や職場探訪のような形で作ってみても面白いかもしれない。
- ・香美市公式ホームページに掲載している広報を、本を開くように見えたり、ページをめくると効果音が入ったりといったリニューアルをしてみる。